

おち町

議会だより OCHI TOWN

№ 154

2025 (R7) 11 / 1
高知県越知町議会

全力でゴール!!
9/27(3面参照)

9月定例会

2P 令和7年度一般会計補正予算7769万円
稲村地区水道施設整備など

6P 使い道を徹底検証(決算審議)

9P 道路行政・高齢者支援など7人が問う(一般質問)

一般会計 補正予算ピックアップ

7年9月定例会

Contents No154 Nov 2025

- 2 7年度補正予算ピックアップ
- 4 6年度決算
物価高騰対策に1億2167万円
- 6 決算審査会
使い道を徹底検証
- 8 議案質疑
ヘリポート改修工事・
稲村地区水道施設整備など
- 9 7人が一般質問
道路行政・高齢者支援など
- 17 まち・ひと・しごと創生総合戦略
6年度の検証・評価
- 19 広域議会
- 20 議会ですこんにちは
連載：おちのたから⑦

今号の表紙



9月27日に越知中学校体育祭が開催されました。

宮の前公園整備 老朽木の撤去

倒木のおそれがあり早急に撤去を



74
万円

雨漏り防止など 小舟団地・5区公園団地

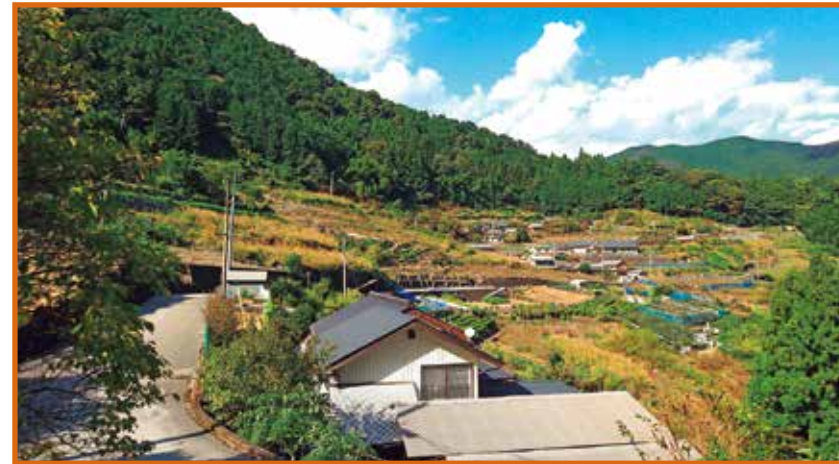


838
万円

5区公園団地1棟の解体工事、および小舟団地3号棟の雨漏り防止のための防水工事

飲料水供給施設 稲村地区水道施設整備

3575
万円



老朽化した既設管を耐久、耐震性に優れる管に布設替えを望む稲村集落

一般会計補正7769万円

9月定例会は、18日から24日まで開き、6年度各会計決算9件、7年度補正予算など10件を全会一致で認定・可決しました。
一般質問〔9面から〕は7人が道路行政・高齢者支援について執行部をただしました。

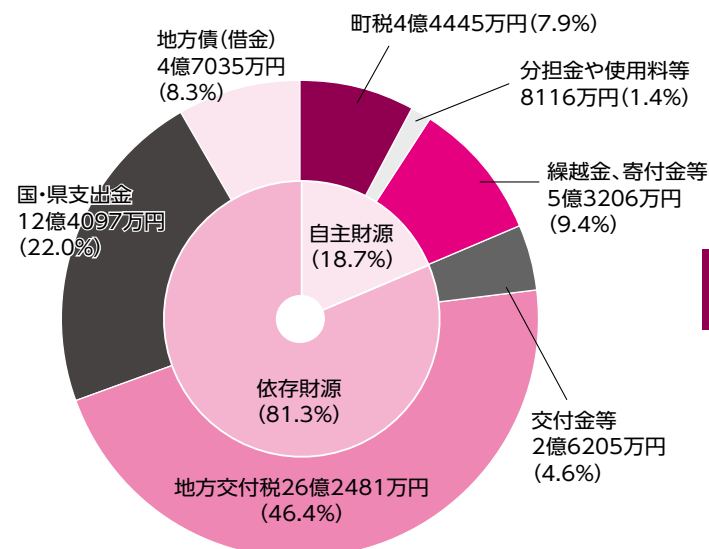
7年度補正予算

会計名		補正額	総額	賛否
一	般 会 計	7769万円	58億9294万円	賛成全員
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1610万円	6億9744万円	
	介 護 保 険	2589万円	10億1276万円	
	後 期 高 齢 者 医 療	283万円	1億3482万円	
	横 倉 山 自 然 の 森 博 物 館	31万円	4529万円	
	会 計 事 務 集 中 管 理	174万円	4488万円	
簡易水道事業	水 道 事 業 収 益	117万円	1億2676万円	
	水 道 事 業 費	275万円	1億2952万円	
下 水 道 事 業	下 水 道 事 業 収 益	65万円	1億5462万円	
	下 水 道 事 業 費	65万円	1億5462万円	

町民1人当たり117万円の支出

(令和7年3月末現在人口4,753人)

一般会計歳入56億5585万円



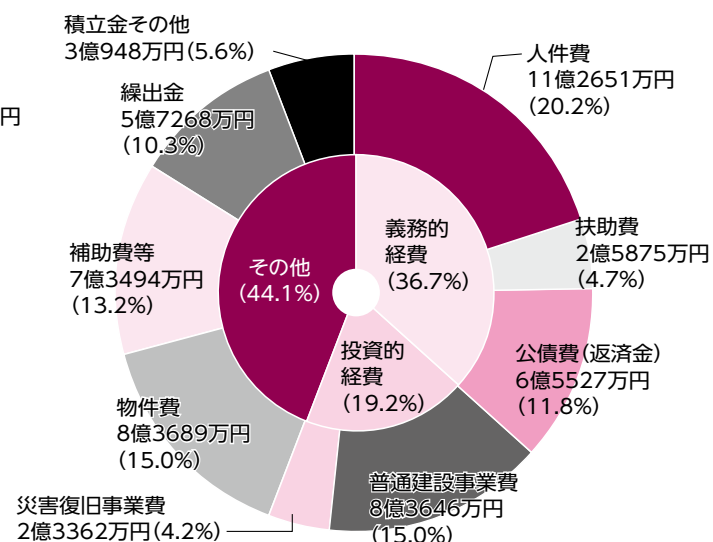
※各項目の金額は四捨五入しており、
合計と一致しない場合があります。
※()内の数字は構成比

町債（借金） 残額53億7171万円
（対前年1億6743万円の減）
基金（預金） 残金26億7797万円
（対前年1億4120万円の増）

6年度の各会計決算と基金の運用状況は、9月定例会で審議し、全ての会計について全会一致で認定しました。

【審議内容は6～7面

一般会計歳出55億6460万円



財政の健全化判断		
指 標	健全化判断比率	早期健全化基準
実 質 赤 字 比 率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	10.3%	25.0%
将 来 負 担 比 率	1.6%	350.0%

6年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

今後、財政状況は厳しく、数値が悪化しないよう慎重な財政運営が求められる。

基準を下回り
健全

町財政の健康診断

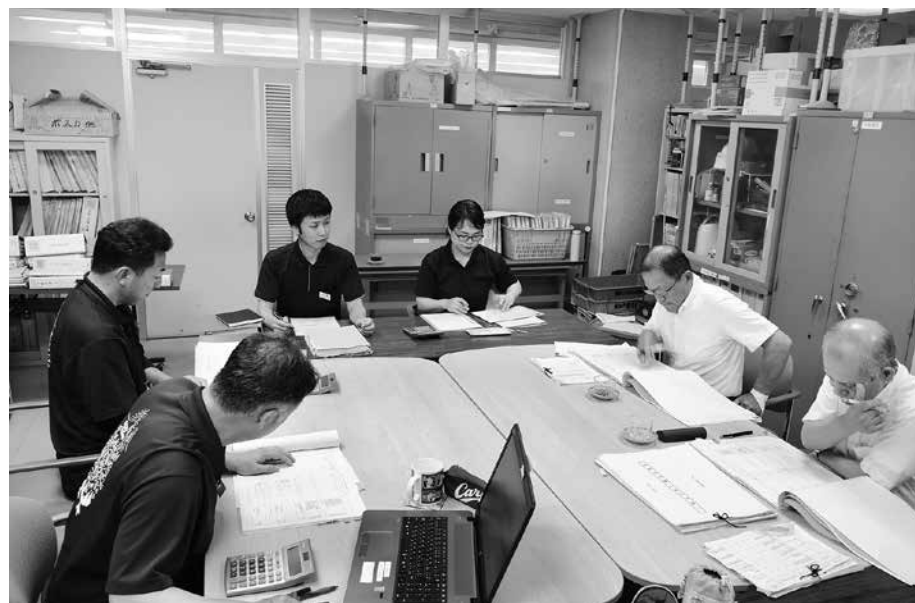
経営健全化判断		
会計名	資金不足 比 率	健全化 基 準
簡易水道	不足なし	20.0%
下 水 道	不足なし	20.0%

用語(指標)の説明

- **実質赤字比率**
普通会計の※標準財政規模に対する赤字の割合。
- **連結実質赤字比率**
町の全会計の※標準財政規模に対する赤字の割合。
- **実質公債費比率**
町の※標準財政規模に占める借金返済の割合。
- **将来負担比率**
町の※標準財政規模に対する将来支払う負債の割合。

350%以上で早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定が義務付けられる。

※標準財政規模
補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。



監査委員の決算審査は7月23日から8月6日まで行われた。

監査委員意見・要旨〔須内康仁・山橋正男〕

一般會計

前年度に比べて歳入で4億3052万円(対前年8・2％増)、歳出で4億8028万円(対前年9・4％増)の増額となつた。

歳入での増額の大きな要因として、地方交付税4610万円(対前年1・8％増)、国庫支出金3億1638万円(対前年55・6％増)、県支出金3541万円(対前年11・0％増)の増額が大きい。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1億2167万円(対前年皆増)、地方公共団体情報システムの標準化・共通化に

円(対前年皆増)の増額が大きく影響している。

歳出では、土木費の地方道路整備交付金事業費7522万円(対前年21・7％増)と橋りょう等老朽化対策事業費1億2478万円(対前年22・5・9％増)、災害復旧費の1億8295万円(対前年361・1％増)の増額が大きく影響している。

翌年度への繰り越し財源を控除した実質収支は6203万円の黒字となり、前年度に引き続き基金の取り崩しを行っていない状況である。

歳入については、国・県支出金・地方交付税・臨財債の歳入に占める割合は68・4%となった。

4年度は69・6%、5年度は66・6%と依然として依存財源に大きく頼った財政運営を示しており、自主財源の乏しさが顕著になっている。

今後、財政の弾力的維持が懸念される状況なので、財政の中・長期的な見通しをしっかりと立て、慎重な財政運営をしていくことが重要である。

今後、財政の弾力的維持が懸念される状況なので、財政の中・長期的な見通しをしっかりと立て、慎重な財政運営をしていくことが重要である。

6年度一般会計歳出決算55億6460万円

物価高騰対策に1億2167万円

6年度会計別決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		56億5585万円	55億6460万円
特別会計	国民健康保険	6億9220万円	6億7604万円
	介護保険	10億2263万円	9億8280万円
	後期高齢者医療	1億3176万円	1億2893万円
	土地取得	0万円	0万円
	蚕糸資料館	22万円	22万円
	横倉山自然の森博物館	3944万円	3944万円
簡易水道事業会計	収益的収支	9925万円	1億174万円
	資本的収支	2398万円	2435万円
下水道事業会計	収益的収支	1億6520万円	1億6448万円
	資本的収支	1億3960万円	1億6122万円

6年度決算審査会

使い道を徹底検証

【賛成全員で認定】

6年度の決算認定に係る決算審査会は、9月19日に開催し、執行部に対しお金の使い道の徹底検証を行いました。



決算審査会は審議内容の幅が広いため、幹部職員が出席する

【以下は質疑の内容です】

【一般会計】

総務課

小田(壮)議員 町民バス運行1404万6640円とある。6年度の利用者数は、

井上総務課長 延べ利用者は、3231人である。

住民課

上岡議員 ひとり親家庭医療費237万1757円。件数と子どもの数は、

北川住民課長 件数は1091件。内訳は、ひとり親家庭の親が25人、子どもが41人の合計66人分である。

建設課

小田(壮)議員 林道加枝ヶ谷横倉線開設工事の総距離数と進捗率は、

岡田建設課長 計画延長は、842m、6年度時点では810m。進捗率は96%となる。

小田(壮)議員 森林経営管理促進事業費の実績は、

岡田建設課長 保育間伐、搬出間伐、作業道下刈り、路面整備、除草、林業機械のリース、新規参入などの補助金で、伊藤林業、仁淀川森林組合、明神林業めぐみ林業に支払った。

環境水道課

箭野議員 ごみ出し支援業務は何件分か。

箭野環境水道課長 回収者数は14人である。

企画課

小田(壮)議員 キャンプイベント開催228万円の開催日と参加者数は、

田中企画課長 「おち・まち・そとあそび」を11月9日、10日に開催し、約1300人が来場した。

武智議員 ふるさと寄付金が見込みより減額になっているが、その要因は、

田中企画課長 新高ナシの不作で約500万円、いもケンピが約300万円、総務省のルール変更により、約500万円減少などが主な要因である。

武智議員 ふるさと寄付金、リピーターと新規の割合は、

田中企画課長 リピーターが7%、新規が93%となっている。

産業課

小田(壮)議員 国土調査費委託料9600万8千円。6年度末の進捗は、

武智産業課長 全体計画が106.98km。調査が終わった面積が56.27km進捗率は52.6%、残りが50.71kmとなっている。

高橋議員 小規模ほ場整備事業の実績は、

武智産業課長 谷ノ内遊行寺2件、黒瀬、深瀬、越知甲、越知丁の7件で、受益者は10人、面積は115aになる。



段差が解消された農地

教育委員会

小田(壮)議員 通学対策費1028万2599円の内訳は、

大原教育次長 スクールバス運行でシルバー人材センターに委託している部分が984万8520

円、バス4台分の点検が43万4079円になっている。

箭野議員 片岡給付金型奨学金は県内県外それぞれ何人か。

大原教育次長 県内大学が1人、県外大学が9人である。



児童生徒を安全に送迎

一般会計補正

総務課

武智議員 住宅解体工事、解体するのはどこか。

井上総務課長 5区の公園団地、南東の1棟だ。

建設課

高橋議員 作業班事務所新築工事の内容は。

岡田建設課長 衛生環境上の改善を図ることを目的として、町民会館の南側スペースに建築する。



老朽化が進んだ町営住宅



消防防災ヘリ「りょうま」

企画課

箭野議員 再生可能エネルギー事業化促進事業補助金、134万2千円の内容。

田中企画課長 明治地区の地元組織が、小水力発電の可能性調査として、流量観測4回、水位観測16回、候補地の選定などの業務を行うことに対しての補助金。総事業費は、268万4千円、県の補助金は2分の1の134万2千円となる。

教育委員会

上岡議員 放課後等学習支援員謝礼金15万7千円の内容は。

大原教育次長 中学3年生の入試用の補習の分で10月〜2月までの分を計上している。

育児休業整備

「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」の施行に伴い、ビラ及びポスター作成の基準額を改正するとともに所要の改正を行う。

《賛成・全員》

「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部を改正する法律」が公布され、7年10月1日から施行されることに伴い、仕事と育児との両立支援に関する意識確認等に関する規定及び、部分休業に関する規定を整備するもの。

《賛成・全員》

危機管理課

武智議員 ヘリポート改修工事46万2千円の場合どこか。

片岡危機管理課長 桐見川ヘリポートである。盛り土の沈下と舗装面の亀裂拡大を抑制する工事だ。

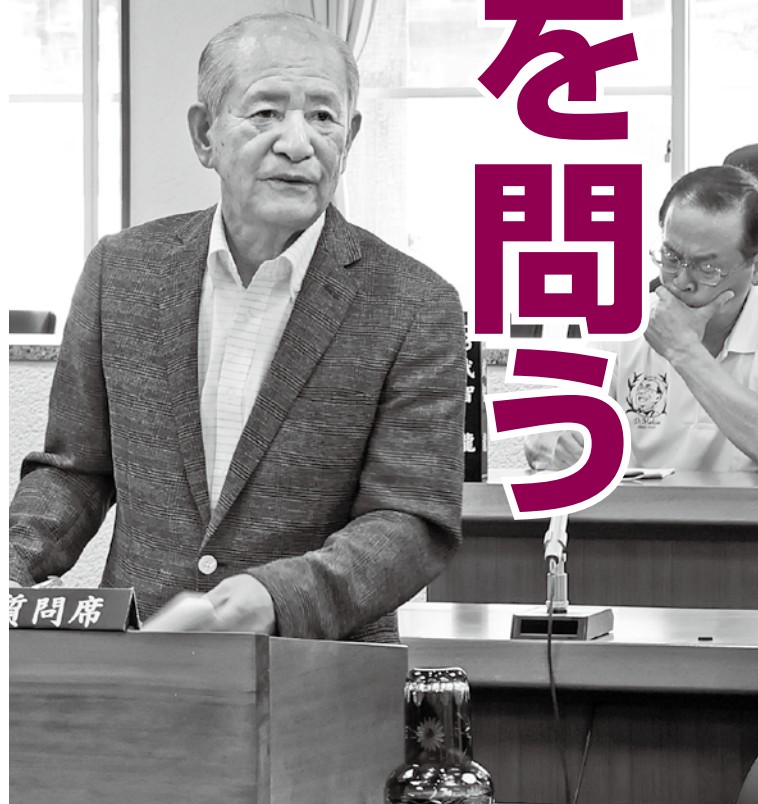
環境水道課

武智議員 稲村地区の水道整備、何世帯が対象か。また、7年度で完了するの。

箭野環境水道課長 対象は、9世帯15人で、7年度に完了する予定である。

一般質問7人登壇

ズバリ!! 町政を問う



9月定例会は7人が一般質問を行いました。
発言内容は紙面の都合で要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。
なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ(<http://www.town.ochi.lg.jp>)をご覧ください。

高橋 丈一・・・10ページ



- ①高知松山自動車道
・用地交渉が大事だ
- ②6区共有地と道路行政
・共有地の今後は

上岡 千世子・・・11ページ



- ①生理の貧困
・生理用品を小中学校トイレに常設
- ②高齢者支援
・エアコン補助
- ③林業の人材確保

市原 静子・・・12ページ



- ①避難所の福祉充実に向けて
・要配慮者の人数は
・福祉避難所マニュアルは作成しているか
・作成同意者数は
・支援ボードを

小田 壮一・・・13ページ



- ①出生数の減少
・婚活支援は
- ②小中一貫教育について
・メリットは
- ③町道維持管理
・周知すべきでは

山橋 正男・・・14ページ



- ①高齢者対策
・安心できる環境整備を
- ②空き家対策
・件数は
・行政代執行

武智 龍・・・15ページ



- ①佐川高校存続
・魅力化に向け五つの提案
- ②子育て世帯の定住
・年代別社会増減は
・生業の支援が必要ではないか

森下 安志・・・16ページ



- ①宮ヶ奈路地区 谷川の荒廃
・改修工事の実施は
- ②共同受信施設の老朽化対策
- ③政治姿勢
・今後の政治姿勢を聞く

こんなことが
決まったぜよ

条例の一部改正

選挙運動基準額改正

「公職選挙法施行令の一部を改正する政令」の施行に伴い、ビラ及びポスター作成の基準額を改正するとともに所要の改正を行う。

《賛成・全員》



上岡千世子 議員



保健室で対応している

問 内閣府は全国の学校や公的機関に、生理用品の無償配布が広がるよう調査結果の公表をしているが、本町はこのことをどのように考えるか。

大原教育次長 小中学校の現状は、経済的困難などによる生理用品購入が難

問 調査事例の中に、養護教諭の個別対応から、トイレへの常設へと変更したとあった。小中学校のトイレへの常設は必要と思うが考えは。

大原教育次長 内閣府の昨年10月1日時点の「生理の貧困に係る取組調査」では、取り組みを実施している数は、926団体で、全自治体の半分ぐらいとなっている。学校のトイレへの配置、各自治体の窓口、学校保健室に配置するなどの事例も多く、今後参考となる結果だと思う。

考えていない 教育次長

生理用品を小中学校トイレに常設

生理の貧困

検討したい

西森保健福祉課長 熱中症予防として、全国の自治体のいくつかは、高齢者世帯に対しエアコン購入費の助成を行っているようだ。エアコン購入については、健康被害の予防を考え、財源を含めて検討していきたい。電気料については、支援を必要とする料金の算出が困難

問 高齢者や障がい者に、省エネ型エアコン購入のための助成金や、電気料の支援などが必要と思うが考えは。

エアコン補助

高齢者支援

しい児童・生徒はいないと把握している。保健室には一定の備えがあり、急なときや持ち合わせがないときは対応しているので、トイレへの常設は考えていない。

である。

林業の人材確保

問 林業を職業とするための人材確保につながる仕組みづくりの考えは。

岡田建設課長 町内では、2林業事業者が森林経営管理に携わっている。林業を担う事業体を安定的に存続させること



施業地の確保が重要

が、人材を受け入れ定着させるための基盤となるため、林業事業者の強化と安定した施業地を確保することが不可欠である。そのため、現在進めている「森林経営管理意向調査」などにより、施業地の集約を図り、効率的な作業道の開設をするなどして、林業事業者の成長を後押ししたいと考える。

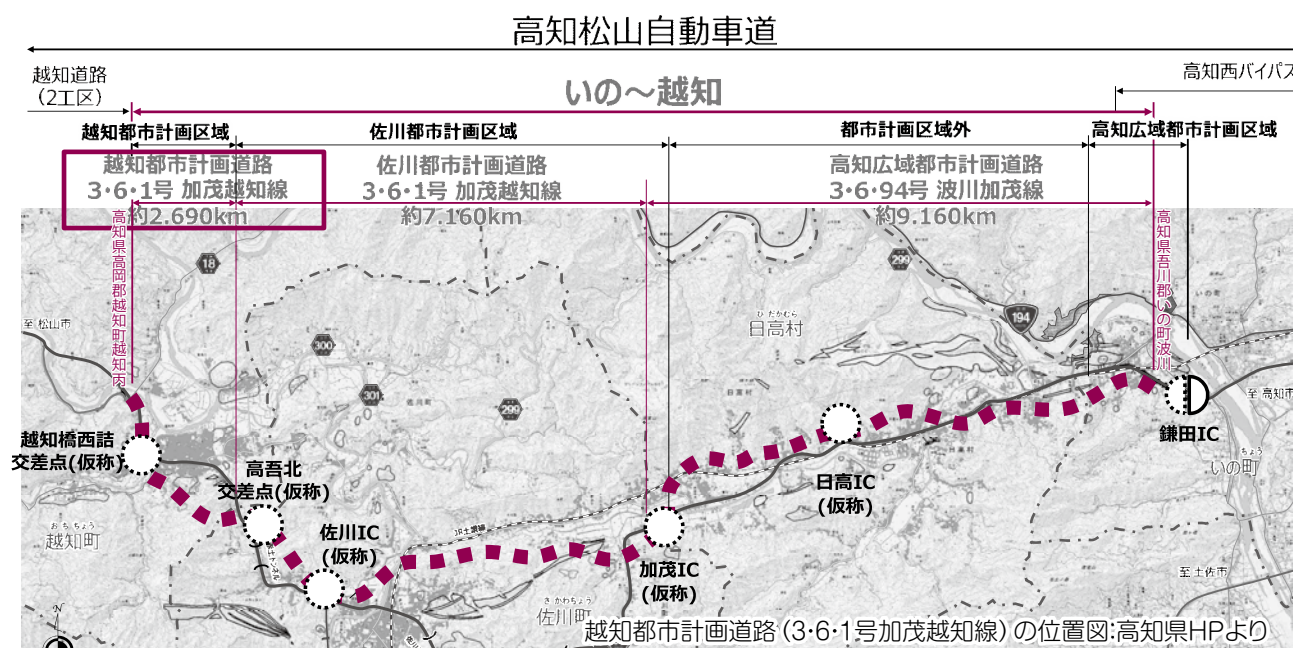
高知松山自動車道

用地交渉が大事だ

協議・協力を進めていきたい 町長



高橋丈一 議員



問 国道33号越知道路2工区は現在工事中だが、進捗状況と今後の予定は。

岡田建設課長 現在、野老山地区において、ケヤキ谷橋の橋梁補強拡幅工事が進められている。そ

小田町長 他の町村にも、用地交渉は早めに話をして、協議協力を進めていきたい。

問 計画どおり進めるには、用地交渉が大事だと思うが考えは。

岡田建設課長 住民説明会の参加者は27人で、計画図の縦覧者数は24人である。

問 6区共有地の状況及び町道西ノ芝4号線の現状と今後は。

6区共有地と道路行政

岡田建設課長 片岡、鎌井田間のトンネルは設計が完了し、地元説明会が開催された。

問 県道18号の片岡、鎌井田間と黒瀬、片岡間の待避所の現状と今後の予定は。

岡田建設課長 片岡、鎌井田間のトンネルは設計が完了し、地元説明会が開催された。

県道18号

の後、防災工事などへ着手していく予定であり、完成時期は未定である。

議員副町長 6区共有地は、5年度に基本測量設計を実施した。用地取得費を含めた概算事業費を把握し、これを基に有効な財源確保に向けて検討を進めている。

土地活用は、住民の要望なども踏まえて、防災機能を備えた広場や公園などをイメージして整備を検討している。

財源は、国土交通省の都市防災総合推進事業の活用を念頭に採択要件などの確認を行っている。

町道西ノ芝4号線の拡幅工事は共有地取得後に事業化に向けて取り組んでいく。



小田壮一 議員

問 2～6年度別出生数と婚姻数を聞く。

北川住民課長 出生数は2年度から21人、25人、17人、17人、4人である。婚姻数は、10組、8組、8組、7組、8組である。



出会いをサポート

出生数の減少

婚活支援は

知恵を絞っていききたい

町長

問 婚活支援の施策について聞く。

小田町長 婚姻数はかなり減っている。18歳以上40歳未満で、男性は、既婚84人、未婚276人、女性は、既婚89人、未婚239人で、未婚者が非常に多いといえる。本町の制度は、県もしくは民間のホテルとか企業が主催する婚活イベントの周知やマッチングシステムの登録料を助成している。

知恵は、絞っていかねければならないと思っている。

小中一貫教育について

メリットは

問 「創生総合戦略」に「小中一貫教育の研究」とあるが児童・生徒にとってメリットを聞く。

成長を継続して把握

織田教育長 メリットは、小中9年間を一貫した目線で捉え、系統性、連続性に配慮した教育活動や指導体制の一本化による教育効果の増大。「中一ギャップ」が解消しやすい。教員が児童生徒一人一人の成長を9年間継続して把握しやすいなど、が考えられる。

体制は

問 どのような体制で進めていくのかを聞く。

研究検討チーム

織田教育長 教育委員会事務局と小中学校とで「小中一貫教育研究検討チーム」を立ち上げている。研究検討を進め、素案を作成したい。

問 いつごろまでに結論を出す予定か。

織田教育長 10年度まで

■ 樹木等の適切な維持管理について

◆ 道路上に樹木等を張り出さないよう、適切な維持管理をお願いします

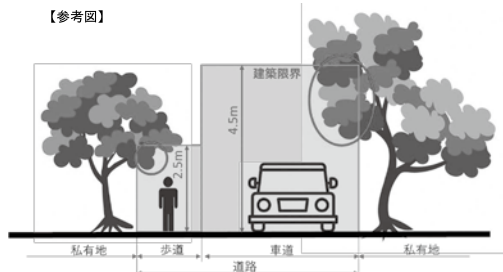
民地から樹木や植木鉢などが道路に張り出していると、歩行者や車両の通行に支障となるため、土地所有者の責任で樹木等の伐採や剪定等の適切な維持管理をお願いします。

【関係法令】

道路の建築限界（道路法 第30条、道路構造令 第12条）

高さについては、車道「4.5m」、歩道「2.5m」の範囲に樹木等が張り出していると「建築限界」を侵している可能性があります。

【参考図】



には、方向性の結論を出したいと考えている。

町道維持管理

周知すべきでは

問 道路の維持管理に重要な支障木の切除作業には、町民や土地所有者の理解と協力が重要で、ホームページや広報で定期的に周知すべきと思う

岡田建設課長 5年10月に「樹木などの適切な維持管理について」町のホームページに掲載したが、今後は、定期的に新着情報へ再掲するなど、より効果的な周知方法や内容について工夫を重ね取り組んでいく。

が、考えを聞く。

効果的な方法で

避難所の福祉充実に向けて

要配慮者の人数は

738人である

保健福祉課長



市原静子 議員

問 災害法制に福祉が位置づけられた。介護福祉士や社会福祉士などで構成されるDWAATが避難所だけでなく、在宅や車中泊の避難者らにも必要な支援を届けられ、災害関連死の予防につながることを期待される。本町でも大規模災害が起きたとき、DWAAT体制は整っているのか。

西森保健福祉課長 2年に県災害派遣福祉チーム、「高知県DWAAT」が発足した。大規模災害時、本町は元年に策定した「越知町南海トラフ地震時保健活動マニュアル」を基に現状の把握を行い、必要であれば、DWAATの派遣要請を行う。活動拠点は、保健福祉センターとし、町の災害対策本部を中心に活動することを想定している。

作成同意者数は

問 個別避難計画は、3年に作成済みとのことだが、現在の個別避難計画の作成同意者は何人か。

また、病院や施設と協定締結が必要だが、何件の協力が得られているのか。

504人

西森保健福祉課長 7年3月の計画作成同意者は、504人。新たに対象になった人やこれまで不同意の人も、これから訪問



活動の拠点となる保険福祉センター

問 大規模災害時の要配慮者は何人か。

また、福祉避難所マニュアルは作成しているか。

西森保健福祉課長 本町の要配慮者の人数は、738人だが、実際に福祉避難所の利用を想定しての人数は把握していない。また、福祉避難所マニュアルは、案を考えており、今後協定を結んでいる事業所と協議をし、策定していきたい。

調査を行う予定である。個別避難計画は、一般の避難所への避難計画になっている。

病院や施設との協定は行っていない。まずは、一般の避難所に避難していただき、自分の身の安全を確保していただく計画になっている。

支援ボードを

問 避難所で、耳の聞こえない人や外国人が、生活上の要望や健康状態を伝えられる「コミュニケーション

「シヨン支援ボード」を作成し、指定避難所へ配備する考えは。

配備したい

片岡危機管理課長 避難生活を送るうえで、意思疎通を図ることは、年齢、性別、国籍を問わず非常に大切なことである。今後、日本語を含んだ災害時多言語表示ボードや多言語指差しボードなど準備し、指定避難所8カ所に配備したい。



多言語表示ボードで意思の疎通



武智 龍 議員

問 7年3月に公表された高知県立高等学校振興再編計画と前期実施計画を町長はどのように捉えているか。



多くの新入生を望む

佐川高校存続 魅力化に向け五つの提案 地域コンソーシアムで協議 町長

- 問** 最も集中すべきは9年度までの3年間だ。魅力化に向け地域ができることを提案したい。
- ① 毎年3人〜5人程度、海外留学を希望する生徒の夢をかなえる助成金を出す。
 - ② 部活の練習や遠征に使える車を贈る。
 - ③ 全生徒の学力向上のために無料の公設塾を開設する。
 - ④ 生徒の負担軽減と成績向上のため、中間と期末テストを廃止し単元ごとの実施に変える。
 - ⑤ これらの取組実現の

北川住民課長 10歳未満6人減、10代42人減、20代91人減、30代9人減、40代25人減、50代11人増、60代4人増、70代16人増、80代15人減、90歳以上は増減なし。

問 10代、20代と40代が多く減っているが、その要因は。

北川住民課長 10代、20代は進学と就職、40代はマイホームが要因ではない



担い手不足が続くサンショウの収穫

武智産業課長 地域産業の発展と担い手の確保のためサンショウの産地振興に取り組む。

問 子育て世帯の定住に向け、生業(なりわい)の支援が必要ではないか。

かと考える。

農業、商業とも課題は一朝一夕に解決できないが、改善できる部分は柔軟に対応していきたい。

高齢者対策

安心できる環境整備を

高齢者の声を集めている 保健福祉課長



山橋正男 議員



高齢者によりそう協力隊員

問 高齢者が安心できる環境整備が必要である。ひとり暮らしの高齢者が増加しているが、各地区何世帯か。

また、本町の高齢者世帯を支える体制を充実させていくことが重要と考えるが、対応は。

西森保健福祉課長 越知地区は、五葉荘を除いた世帯数が551、大桐49、野老山27、横島88、明治

78である。

7年度より地域おこし協力隊が、「介護のスキマを埋める暮らし寄り添いコミュニケーション」として着任し、高齢者の声を集めている。

提案された業務の制度化や、現状に合わない事業の廃止などができればと考えている。

問 ひとり暮らしの高齢者が増加する中、「あつた

かふれあいセンター」の取り組みを今後どのように充実されていくのか。

西森保健福祉課長 職員は毎年研修に参加し、スキルアップに努めている。

中央西圏域の「あつたかふれあいセンターの会」にも参加し、取組事例などの情報共有も行っている。

今後については、センタりの利用だけでなく、地域の訪問活動も増やし、見守りやひきこもり防止に向け活動できればと考えている。

空き家対策

件数は

問 空き屋の実態調査を平成29年度に実施しているが、建物全体に危険な損傷が認められるものはあったか。地区ごとの件数は。

ため、支援金額を4町村で500〜1千万円に増額する。

町長の考えは。

小田町長 地域としてできることを考えていたただけることはありがたい。

今後コンソーシアムの会議で協議する。

子育て世帯の定住

問 本町の2年度から5年間の年代別社会増減は。



壊れそうな空き家が急増

42件

田中企画課長 越知地区で6件、野老山4件、南国6件、大桐13件、横島6件、明治5件、東北2件、全体で42件である。

行政代執行

問 倒壊のおそれがある空き家の急増が懸念される。所有者の自主管理を促すことが基本だが、行政代執行を含め、対応を検討する必要があると思うが考えは。

現状では難しい。

片岡危機管理課長 行政代執行ありきで空き家対策を進めることは、現状では難しい。

ただし、緊急時に対応すべき事案発生に備えて、あらかじめ管理が不十分な空き家や危険な空き家の所有者や管理者、相続人の特定を済ませることは、緊急安全措置を講じる上で欠かせないことなので、関係各課と検討したい。



森下安志 議員

宮ヶ奈路地区 谷川の荒廃

改修工事の実施は

町で対応できる方法を検討していく 建設課長



浸食が進む谷川

問 宮ヶ奈路地区の谷川の浸食が進めば、下流の民家にまで被害が及ぶ恐れがあるので、改修工事ができないか。

岡田建設課長 この谷川は、河川法の適用を受けない「青線」と呼ばれる法定外公共物で、町が管理している。被害規模が比較的小さいので、地区の皆さんと相談しながら、対応できる方法を検討していく。

共同受信施設の老朽化対策

問 テレビ共同受信施設は、地上デジタル放送への対応を機に改修され数十年経過しており、施設の老朽化が深刻になっている。この施設の全面改修工事に対して、支援はないか。

また、町が整備している、光ファイバー網を片岡地区の各戸に接続し、共同受信施設から視聴で

きる環境にならないか。

井上総務課長 テレビ共同受信施設は、NHK共聴施設として整備され24年経過している。改修に当たっては、幹線部分に関してはNHKの所有となり、具体的な負担額はNHKなどに確認をしてほしい。

地区の負担部分は、集

落整備事業費補助金を利用し補助率は10分の8以内、受益者負担が1戸当たり1万2000円以上となる。

問 町長の任期も残り7カ月となり、8年4月には、町長選挙が行われる。町長のこれまでの取り組みと今後の政治姿勢を聞く。

政治姿勢

小田町長 本町独自対策として、75歳以上へハイヤーチケットの配布、木育の推進として木製のおもちゃや冊子の配布、地域振興券などの事業を実施してきた。

今後は、景気の動向と国・県の対策を見ながら、町民の命と暮らしを守り、多角的な視点での人口減少対策、スピード感を持った防災・減災、国土強靱化の推進などに取り組んでいきたい。



テレビ共同受信施設

〔基本目標1〕
地域資源を生かし
雇用を創出

〔農業の振興〕

地域おこし協力隊
による新規就農

支援内容は

武智議員 卒業後の生業に向けた支援が必要だとしているが、どのような支援か。

技術の習得

武智産業課長 7年度の取り組みとしては、担い手育成センターで、3カ月間の基礎的な農業研修を受けている。

その後、サンショウ、ミシマサイコ、ダイダイ、プンタンなどのさまざまな技術を身に付けてもらう支援をしている。

〔基本目標3〕
若い世代・子育て世代の希望をかなえ、
住みたい・住み続けたいまちづくり防災訓練等の実施
及び母子保健事業
での啓発

訓練の内容は

節野議員 こども園での保護者との防災訓練の内容は。

引き渡し訓練

田村こども園長 毎年10月に、こども園の時間帯に地震が起きた想定で保護者に迎えに来てもらい、子どもを引き渡し訓練を行っている。



研修中の協力隊員

7月8日に、町幹部職員を交え全員協議会を開き、本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略「おち家の挑戦」の6年度の状態などについて、検証・評価を行った。



創生総合戦略の検証・評価が行われた全員協議会

総合戦略を検証・評価

【基本目標4】
越知の未来を担う人づくり

園小中連携教育の
推進

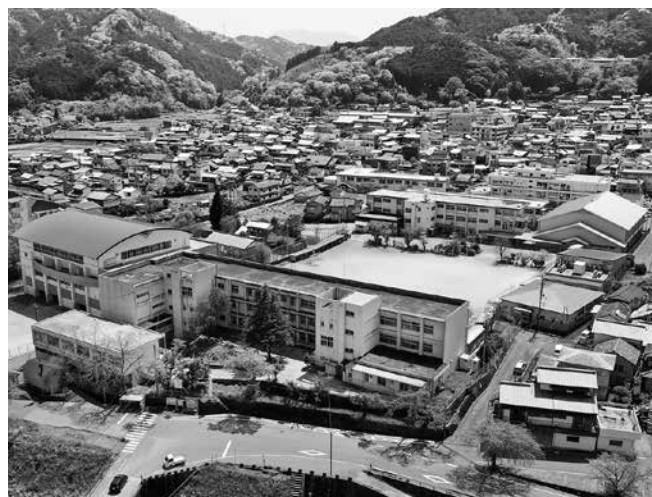
【基本目標5】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり

【基本目標6】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり

がある。今後、視察など
をし、どちらがいいのか
これから進める。

【基本目標7】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり

【基本目標8】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり



連携教育を検討中



司会進行をする集落支援員

集落支援員事業

広報配布

【基本目標9】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり

集落支援員

井上総務課長 大桐方面
では、集落支援員の援助
を得て配っている。

人数は十分か

【基本目標10】
安心していつまでも暮らし続けられる
地域づくり

足りない

田中企画課長 足りない
と思っているので、募集
をしている。

横断的に動ける支援員
を増やして、地区の要望
を、役場に届ける役割を
担ってもらう。

広域議会

組合長報告

感染症関係

7月、8月に湖水園に
おいて職員5人、利用者
27人、合計32人の新型コ
ロナ陽性が確認され、1
人入院したが、重症とな
った利用者はなく、現在
感染者はなく開放となっ
ている。

春日荘においても8月
に職員3人、利用者15
人、計18人の新型コロ
ナ陽性が確認され、5人入
院したが重症となった利
用者はなく、感染対策を
取りつつ動向を見ている
状況である。

第3回定例会が9月2
日に開かれ、専決処分、
6年度各会計決算認定、
条例の一部改正、7年度
一般会計補正予算など計
9件を全員賛成で承認・
可決しました。



感染症の終息を



出動待機中

高吾北消防

五葉荘においては、8
月に職員2人、利用者1
人、あがわ荘において
は、職員1人の新型コロ
ナ陽性を確認している。
新型コロナウイルス感
染症が流行っており、各
施設予断を許さない状況
が続いている。

救急搬送状況は、熱中
症または脱水症での搬送
件数が昨年の同時期の30
件に対し25件と若干減少
しているものの、昨年間
様熱中症での搬送が後を
絶えない。また、新型コ
ロナ陽性者の搬送件数も
大幅に減少しているが、
感染者は変わらず出いて
いる。

条例改正

高吾北広域町村事務組
合職員定数条例の一部を
改正する条例
《賛成・全員》

職員の勤務時間、休暇
等に関する条例の一部を
改正する条例
《賛成・全員》
職員の育児休業等に関
する条例の一部を改正す
る条例
《賛成・全員》

決算認定(6年度)

補正予算(7年度)

会計名	歳入	歳出
一般会計	11億3852万円	10億6576万円
特別会計		
特別養護老人ホーム	10億9539万円	10億185万円
養護老人ホーム	1億924万円	1億301万円
障害者支援施設	4億9998万円	2億6703万円
ふるさと市町村圏	500万円	18万円

会計名	補正額	総額
一般会計	6844万円	12億4012万円
特別会計		
特別養護老人ホーム	7973万円	10億2733万円
養護老人ホーム	624万円	1億1728万円
障害者支援施設	2億3296万円	4億5597万円

議会の動き

7月	8月	9月
1日 広報委員会	18日 仁淀川改修期成同盟会要望活動	2日 広域議会
4日 広報委員会	25日 地域に根ざした佐川高等学校を 後援する総会(議長)	12日 議会運営委員
7日 国道33号整備促進期成同盟会	29日 町村議会議長研修及び 県政に対する意見交換会(議長)	18日 第4回議会定例会
8日 まち・ひと・しごと全員協議会	29日 四国部品誘致町連絡協議会総会(副議長)	19日 決算審査会
11日 広報委員会	29日 四国四県町村長、議長大会(議長)	25日 区長連合会秋季総会(議長)
16日 国道494号整備促進期成同盟会総会(議長)	29日 瀬戸内市議会広報委員会視察研修	29日 国道33号整備促進期成同盟会
16日 大阪高知県人会発足77年総会(議長)	30日 高知県協議会要望活動(議長)	
24日 国道33号整備促進期成同盟会総会(議長)		
31日 市町村議会議員研修		

議会です
こんにちわ

⑦

おちのちから

148号からは「こども園おちの子」に通園しているお子さんの紹介記事
を連載しています。

今回は、1歳児りんご組 岡田葉琥くん(1歳)です。
ご両親にお話を伺いました。

お兄ちゃんいつきの樹くんと



恥ずかしがり屋さん



おかだ はく 岡田 葉琥 くん(文徳)

議会を傍聴しませんか

9月定例会の傍聴者は延べ10人でした。
次の定例会は12月5日開会の予定です。
大勢の傍聴をお待ちしています。

初めてのタケノコ掘り



—越知にあればいいもの—
小児科があれば

人を助ける心優しい人になってね
おとうさん・おかあさん



編集後記

今年の夏は、記録的な猛暑日の連続で、10月半ばだというのに残暑が続く、秋の気配を感じられない日が多い。

このまま地球温暖化が続くことになれば、いずれ四季から二季になるのではないだろうか。

さて、政界も大詰めを迎えている状況であるが、新総理には日本国民にとって、安心した暮らしができるかじ取りを願わずにいられない。

これからも、読みやすい紙面の編集に努め、多くの町民の方に議会だよりを見ていただきたいです。

《小田(範)》

編集・発行責任者

議長 小田 範 博

議会広報常任委員会

委員長 箭 野 久 美

副委員長 森 下 安 志

委員 小 田 範 博

委員 上 岡 千 世 子

委員 小 田 壮 一

※分かりやすい紙面に心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。